コングラッチュレーション

伊藤貴晴　作

【登場人物】

男１　田中和夫

女１　ナオミ

女２　アリサ

女３　リカコ

【１】

男１の部屋。段ボールとゴミ袋が積み上がっている。

男１が電話をしている。

男１ 大丈夫だって。ちゃんとやってるよ。荷ほどきも終わって、ご飯も作ってるし、ゴミも捨ててるし、心配ないって。鍵？　ちゃんとかけてるよ。当たり前だろ。心配しすぎだよ、ママ。え？　水道とかの支払いの手続きは全部ママがやってくれたんだろ。仕事も大丈夫。まだ研修ばっかりだけど、いい人ばっかりだし。うん。今度帰るよ。じゃあ、また

男１は電話を切る。

男１ メシに行こう

男１、退場。

ベッドの下・段ボールとゴミ袋の中から女１・２・３が現れる。

女１ 荷ほどき終わってない

女２ ゴミ捨ててない

女３ ご飯作ってない

女１ 地球人って嘘つきなの？

女２ 事前の情報と全然違うんだけど

女３ サンプルが少なくて分からない

女１ 地球人は温和で社交的

女２ 真面目でコツコツと文明を築き上げている

女３ ゴミの山が積みあがってるけど

女１ 真面目にコツコツやらなきゃ文明なんか進歩するわけないでしょ

女２ それでこの程度の文明ってことでしょ

女３ 大した特徴がないってことか

女１ 地球人って冴えない感じ

女２ 分かる。締まりがないっていうか

女３ 現地の言葉で「チャラい」って言うらしいよ

女１ よく調べてるね

女３ まあね

女２ 大体あれでオスなの？

女１ 弱そうだし、頼りなさそう

女３ だからメスがいないんじゃない？

女１ そういうことか

女２ やっぱ地球なんかやめとけばよかった

女１ 何言ってるの？　アリサが行きたいって言いだしたんでしょ

女２ 言ったけどさ。ナオミだって乗り気だったじゃない

女１ 私はこういうレトロな街並みが好きなの

女３ 環境破壊まっしぐら

女１ 自分の星じゃないんだからいいでしょ

女２ 文明が遅れてるってのが致命的だよね。コンタクトできないもん

女３ 存在を知られてはいけません

女２ 交流のある星だったら直接会って話聞けるのに

女１ 今更そんなメジャーな星のこと調べても仕方ないって自分で言ったんでしょ

女２ 言ったけどさ。こっそり調査ってめんどくさいね

女３ 何で夏休みにこんなことやってんだろ

女１ もう来ちゃったんだからやるしかないよ。順番に確認していこう。まずここは地球のどこ？

女３ ジャパンの首都トーキョー

女２ のレンタルルーム

女１ 住んでいるのは地球人のオス１名

女３ 田中和夫２２歳

女２ 何で分かるの？

女３ ここにパーソナルデータが書いてある

女１ それ何？

女３ 自動車のライセンス

女２ その入れ物は？

女３ お金が入ってるから財布じゃない？

女２ 財布持たないでご飯に行ったの？

女１ なかなかやるな

男１が帰って来る。

女１・２・３は隠れる。

男１ 金がないとメシは食えないな

男１、退場。

女１・２・３、出てくる。

女１ 忘れただけか

女２ お金抜いとけばよかった

女３ そんなことしたらばれるよ

女２ お腹空いた。ご飯食べたい

女１ もうすぐ母船に戻るから

女２ 地球で食べたい。地球のご飯っておいしいらしいよ

女３ そうなの？

女２ せっかくだから食べに行こうよ

女１ 現地の人間との接触は禁止

女２ バレないって。こうやって変装してるんだから

女１ ルールはルールです

女２ 食べたい。牛丼食べたい

女３ そんな安いのでいいんだ

女１ 分かったよ。後でこっそり行こう

女２ さすがナオミ

女３ お薦めは吉野家

女２ で、何だっけ？

女１ 田中和夫２２歳

女２ そうそう

女３ 大学卒業後、就職。一人暮らしを始める。両親は過保護

女２ そんなことも書いてあるの？

女３ さっきの様子を観察して、何となく

女１ 実家で甘やかされたんだね

女２ 生活力がない

女３ 母親のこと「ママ」って呼んでた

女１ ああ、あれ

女２ あれが普通なの？

女３ ううん。「ママ」って呼ぶのは一般的に幼少期のはずなんだけど

女１ 控え目に言ってキモい

女２ 率直に言ってウザい

女３ 大人になったら「母上様」と呼びます

女１ 母上様

女２ 母上様

女３ ああいうの現地の言葉で「マザコン」って言うらしいよ

女１ マザコン

女２ マザコンって何？

女１ マザー、コングラッチュレーション？

女２ お母さんおめでとう？

女３ んなわけないだろ

女２ 母親に嘘ついちゃいけないよね

女１ 親を騙すって極刑だよね

女３ 実家暮らしのお坊ちゃまが一人暮らし始めたって何にもできないよね

女１ どうする？　他の地球人も観察してみる？

女２ いや、こうなったら田中和夫２２歳に絞って調査してみたら？

女３ サンプル増やさないと一般的地球人のことが分からないよ

女２ 一般的地球人については先行研究である程度分かってるでしょ。分かってること調べても無駄だよ

女１ だからそれを検証するんでしょ

女２ だからその検証も兼ねて、地球人のオス田中和夫２２歳の研究をしようよ

女３ 演繹的命題に対する帰納的検証ね

女２ そういうこと

女１ あんた絶対分かってないでしょ

女３ そういうことなら

女１ どうせ他のとこに行くのが面倒なだけでしょ

女２ 早く牛丼食べに行こう

女１ 成績かかってるんだから真面目にやってよね

女２ 分かってるよ。この課題ちゃんとやらなきゃ推薦もらえないんだから

女３ 異文化理解が大学進学の必須課題だからね

女１ だから手は抜かないでちゃんと

男１が帰って来る。

女１・２・３は隠れる。

男１ ただいま。今日はコンビニのご飯を食べます。って、誰に喋ってんだよ。あ、おでん忘れた

男１、退場。

女１・２・３、出てくる。

女２ 一人でいると独り言が増えるのかな

女１ 切ない

女２ そのうち猫とか飼いだすんだよ

女１ それで大家に怒られるんでしょ

女３ あれはモテないな

女２ で、何だっけ？

女１ 田中和夫２２歳の研究

女２ そうそう

女３ 生活から確認していこうか

女１ そうだね。これ、引っ越してどれくらい？

女３ １カ月ってところかな

女１ 荷ほどき終わってない

女２ ゴミ捨ててない

女３ 性格はずぼら

女１ 台所は綺麗

女２ 生活感なし

女３ 食事は外食かコンビニ

女２ コンビニって何？

女１ コングラッチュレーション、ビニールテープ

女２ おめでとうビニールテープ？

女３ 違うよ

女１ 言語の違いは難しいね

女２ 本当だよね。あ、見てこれ。全自動洗濯機

女１ 本当だ。乾燥機もついてる

女３ いいなあ

女２ どうせこれも親が買ったんでしょ。過保護なんだよ。手で洗えよ

女１ いつの時代だよ

女２ それにしても何にもない部屋だね

女１ そりゃあ荷ほどき終わってないから

女２ 生活感がなさすぎて生態が分からない

女１ そういう生物だってことじゃない

女３ ねえ、これ

女１ 何？

女３ 段ボールの中

女２ 何、何？　お、これは

女１ アニメーションディスク

女２ 大量

女３ すげえ

女１ 流行ってるんだっけ、こういうの

女３ この地方は特に

女２ 『ふたりはプリキュア』『ふたりはプリキュア Max Heart』『ふたりはプリキュア Splash Star』『Yes!プリキュア5』『Yes!プリキュア5GoGo!』

女１ 『機動戦士ガンダム』『機動戦士Ｚ（ゼータ）ガンダム』『機動戦士ガンダムＺＺ（ダブルゼータ）』『機動戦士Ｖ（ヴィクトリー）ガンダム』

女３ 『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。』『こちら葛飾区亀有公園前派出所』

女１ タイトルの見分けがつかない

女２ タイトルから内容が全く想像できない

女３ 割とメジャーな作品が多いね

女１ リカコ、分かるの？

女３ 常識でしょ

女２ 常識なの？

女１ この星の常識が分からない

女３ こういうの、アニオタって言うんだよ

女２ アニオタって何？

女１ アニバーサリー温泉卵

女２ 温泉卵記念日

女３ 違うよ

女１ しかしこれで生態が分かりますな

女２ なかなかいい趣味をお持ちのようで

女３ マザコンでロリコンか

女２ ロリコンって何？

女１ ロリータ、コングラッチュレーション

女２ 幼女おめでとう

女３ もういいや、それで

女１ でもこれはあくまで趣味だから、実際の女性の好みと一致するとは限らないよね

女２ え？　そうなの？

女３ むしろ２次元にしか興味がないかも

女２ え？　３次元に興味がない？

女１ そういう人いるらしいから

女２ それ、オスとしてダメだよね

女１ そうだけど、そういう文化だから

女２ オスとメスが愛し合わないと種は滅ぶよ

女３ アリサがまともなこと言ってる

女２ 一番大切なのは愛だっておばあちゃんが言ってた

男１、登場。

女１ 愛にはいろんな形があるよ

女２ 生産性のない愛は認めない

女３ それだと同性愛も認められなくなるよ

女２ それはまた別の問題だよ

女１ 同じだよ

女２ 同じじゃないよ、違うんだよ

女３ 生産性がないっていう点では同じだと思うけど

女２ ２次元とは愛の形が違うの。ねえ、あんたはどう思う？

男１ 恋愛の対象が２次元だと一方的にしか愛することができないけど、同性愛なら相互に愛し合うことが可能だってことじゃない？

女２ ほら、そういうことだよ

女１ へえ

女３ なるほどね

男１ ていうか、誰？

女１・２・３は隠れる。

男１ ええー？　何これ？　どういうこと？

女１ 誰もいないよ

男１ いたよね

女２ 気のせいだよ

男１ 気のせいじゃないよ

女３ （歌う）疲れ果てたあなた私の幻を愛したの〔※１〕

男１ 何歌ってんだよ

女３ 「オリビアを聴きながら」でしょ

男１ 曲名は聞いてない

女１ 犬だよ、わんわん

男１ 人でしょ

女２ 私は猿

男１ え？

女３ じゃあ私は鯛

男１ は？

女１ わんわん

女２ うっきっきー

女３ たーいたいたいたい

男１ うるさい。それ狂言の話だろ。ここにいるだろ。ここにも。ほら、ここにも

女１・２・３、出てくる。

女２ やべえ見つかった

女１ そりゃ見つかるよ

女３ まずいな

男１ 誰？

女１ 怪しい者ではありません

男１ 全然説得力ないよ

女２ 全力で怪しいよな

女３ 何言ってんだこいつ

女１ お前らうるさい

男１ で、誰なの？

女２ プリキュアです

女１ おい

女３ ふざけんな

男１ マジで？

女２ はい

女１ 信じるなよ

男１ え？　違うの？

女１ 当たり前でしょ

女３ こいつやべえ

男１ 騙したな

女２ 騙される方が悪いんだよ

男１ 畜生

女１ 何なのこれ？

女３ 地球人との接触は禁止されているんだけど

女１ あ、そうだった

女２ え？　やばい？

女３ やばい

男１ え？　何？

女１ どうしよう

女３ 作戦その１、ごまかす

女２ それさっきやったよ

女１ ダメだったじゃん

女３ 作戦その２、とぼける

女１ ここはどこ？　私は誰？

女２ おかしいな、全然思い出せない

男１は女達を凝視する。

女１ 視線が痛い

女２ 私、耐えられない

女３ 作戦その３、記憶を消す

男１ え？

女１ そんなことできるの？

女３ 強い衝撃を与えると記憶が消えるらしいよ

女２ オッケー任せて

男１ それ絶対ではないだろ

女２ 大丈夫、痛くしないから

男１ 痛いよ絶対

女１ 絶対ではないよ

男１ それは絶対だよ。警察呼ぶよ

女１ あ、そういうこと言っちゃうんだ

女２ 警察なんか呼んだらどうなるか分かってるのかな？

男１ どうなるんだよ

女３ まずこのＤＶＤの中身をバラバラに入れ替えます

男１ 何だって？

女３ さらに瞬間接着剤でフタが開かないようにします

男１ 何てことを

女２ やることちっちゃいな

女１ でもダメージは大きい

女３ それでもいいなら警察を呼びなさい

男１ 仕方ない、やめよう

女１ あ、いいんだ

男１ それでお前達は何者だ？

女１ あんまり詳しく言えないんだけど、私達、他の星から来たの

男１ 他の星？　宇宙人ってこと？

女２ まあそういうこと

男１ へえ

女１ 感動が小さいな

女２ 信じてないんじゃないの？

女３ それならそれでいい

男１ そうだ、どうやって入ったの？

女２ ピッキング

男１ ピッキング？

女２ ていうかこんな旧式の鍵なんかすぐ開けられるよ

男１ そうなの？

女１ 棒の先が自動的に鍵穴に合うようになる道具があるの

男１ そんなのあるの？

女１ 地球にはないよね

女３ でなきゃこんな鍵使ってないよ

男１ じゃあ俺の戸締りは無駄だったってこと？

女１ 地球では通用するんじゃない？

男１ ママに言われた通りにしてたのに

女２ 出た、ママ

女１ 好きなんだね、ママ

男１ 当たり前だろ。ママは世界一のママだよ

女３ 基準が分からない

女１ あのさ、いくつか質問していい？

男１ 質問？

女２ 私達、地球人について調べてるの？

男１ 目的は？　侵略？

女３ 課題研究

男１ 課題研究？

女１ 学校の課題なの。お願い

男１ 何？

女１ ご趣味は？

女３ お見合いかよ

男１ アニメ鑑賞です

女２ さすがロリコン

男１ ロリコンじゃないよ

女２ ロリコンはさ

男１ ロリコンって呼ばないで

女２ ２次元の女と３次元の女、どっちが好き？

男１ ２次元

女２ 即答か

男１ ていうかもはやＶＲで３次元だよね

女１ 何を言っているのかさっぱり分からない

女３ 今までに女性とお付き合いしたことは？

男１ ありません

女３ 初任給は何に使いますか？

男１ ＤＶＤとフィギアを買います

女３ 理想の女性は？

男１ メーテル〔※２〕

女１ 一貫してるな

女２ メーテルって何？

女３ アニメの登場人物

男１ 学校の課題って何？

女１ ハイスクールの課題

女２ 異文化について研究するの

男１ それでよその星？

女１ そう

男１ 何で俺なの？

女１ たまたま

女２ コングラッチュレーション

男１ あんまり嬉しくない

女２ 地球人代表だよ

女３ 本当は地球人との接触は禁止されてるんだけど

男１ どうして？

女１ 地球はよその星と交流がないでしょ

女２ 宇宙人がいるって分かったら大問題になっちゃう

男１ そうだよね

女２ ていうか、あんた信じてないでしょ

男１ うん

女２ 今ちょっとムカついた

女１ 私も

女３ 同じく

男１ え？　本当なの？

女２ 本当だよ

男１ 宇宙人なんかいるわけないだろ

女２ これだから未開の星は

女３ 文明が遅れてるってかわいそうね

男１ バカにするなよ

女１ ねえ、どうする？

女３ 信じてないなら放っておいて問題ない気がするけど

女２ 母船に連れて帰ろうよ

女１ え？

女２ このまま信じられないのもムカつくし、母船に連れて行けば信じるしかないじゃない

女１ そんなことしていいの？

女３ そうしたら生体データが取れるね

女１ ちょっと、リカコまで

女２ 要するに、バレなきゃいいんだよ

女１ 大丈夫？

女３ 大丈夫。何とかなる

女１ ならいいけど

男１ 何の話？

女１ 田中和夫２２歳、あなたを拉致します

男１ 何で？

女１・２・３は男１を捕まえる。

男１ 何するんだよ

女１ 黙って

女２ 大人しくしろ

女３ 抵抗は無駄だよ

男１ ちょっと、ねえ、やめて、誰か、助けて

女１・２・３は男１を連れて退場。

女３、登場。

女３ 『銀河鉄道９９９』

女３はＤＶＤを持って退場。

終わり。

【参考】

〔※１〕「オリビアを聴きながら」杏里の楽曲

〔※２〕「メーテル」『銀河鉄道９９９』の登場人物